

端

NEWS LETTER

温故知新

第一号

いつもご愛用ありがとうございます。川端です。これから私も子どもをもっと知っていたくためのツールとして「温故知新」を発刊します。私のとっても好きな言葉をタイトルとさせていただきます。「古きを知って、新しきを知る」まさに私どもの製造理念と同じです。まずは第一号ということで、創業当時のことを振り返ってみたいと思います。



< 私たちのはじめ >

私どもは100年以上前から同じ素材、同じ製法で、しじみエキスを守っています。130年以上昔の話です。時代は明治。想像してみてください、ランプが使われはじめ、電気もないような時代です。鉄道ができはじめます。装いはまだまだ現在とは程遠いものでした。

そんな創業当時、川端商会という小さな貝問屋の店主川端正善は中国からの文献をよく勉強していました。特に「本草綱目」を日本語にした「養生訓※1」は智慧の宝庫でした。百科事典のような養生訓の内容は多義にわたり、鉱物や植物の言及もあり、食生活や心の持ちようも記載がある書物でした。

そのころから、しじみは健康にとって抜群にいいものだとなわかっていました。

しかし、問題がありました。

当時のしじみエキス



生ものは保存ができません。電気もないような時代ですから、冷凍庫で保存することもとて考えられませんでした。

そこで、川端正善はしじみなどのように保存することができるのかを研究しました。結果的には、しじみの出汁を煮詰めることで常温で保存することが可能ということにたどり着きました。

それが現在のしじみエキスの原点です。

そしてその原点の製法を21世紀の今もかたくなに守り続けて製造しているのが、私たちです。

漁獲高が激減する中、工夫を凝らしながら、これからもエキスづくり、健康づくりの応援をしてみたいと思います。

濃縮したエキス



もしご質問がございましたらお気軽にフリーダイヤルまでご連絡下さい。現在、無料サンプルも承っています。

0120-474-425

株式会社 川ばた乃エキス

〒455-0863 名古屋市港区新茶屋 3-318
Tel:052-303-4147 Fax:052-303-4577



今年は記録的な集中豪雨が多いような気がします。九州北部豪雨支援のために少額ですが寄付を行いました。また蒸し暑い日が続きますね。熱中症にお気をつけていただきたいと思います。一週間で4000人以上が救急搬送される時代です。半数以上の方が自宅などのおうちの中で熱中症になるということですので、どんな場所でも注意が必要ですね。(川端)

※1 「養生訓」は現代語訳でいくつも発刊されています。オススメは斎藤孝先生の「図解 養生訓」です。江戸時代に大ベストセラーとなった、貝原益軒の『養生訓』。いまでも健康ガイドのさきがけをして『養生訓』に学ぶことは多々あります。それを身体論を研究している、斎藤孝先生が、解り易く図解にし、先生自身のエピソードをふんだんに盛り込んだ書籍です。